

輝く女性を応援し隊！第4回パトロール



工事は大型のトンネル掘削機で掘削し、土砂をコンベアで坑外へ搬出、アーチ状に支保工を建込、コンクリートを吹付け、床面にコンクリートを打設し、安全を確認しながら掘進していきます。

平成 29 年 12 月 14 日「輝く女性を応援し隊！」による第 4 回目のパトロールを実施しました。

今回は、西松・三基・錦 特定建設工事共同企業体が施工する時津町の久留里トンネル工事現場をパトロールさせていただきました。



切羽（トンネル掘削面）

全長 1,728mのうち、437m地点(12/13 現在)

この工事は、長崎市と佐世保市を結ぶ「西彼杵道路」の一部区間として新設される県道で、平成 32 年度中に共有開始を予定しています。

久留里トンネル工事現場で女性現場監督として活躍されている西松建設(株)の迫さん



安全衛生に配慮した職場づくり！



坑内では、大型重機やダンプトラックが稼働するため、接触等の事故防止のため、歩行者用通路にロープを張り安全を確保。

停止車両にはカラーコーンを置き、停車中であることを視認できるように見える化が図られていました。



坑外へ出なくても休憩がとれるよう、坑内にプレハブ休憩所が設置され、ウォーターサーバー、冷蔵庫、休憩のための椅子などが用意されていました。



パトロール後の講評では、隊員から各々気づいた点を発表しました。

好事例として、「カラーコーンの設置による稼働機械と停車中の機械の区別の明確化」、「車輪止めの徹底」、「坑内安全通路の区分けがよくなされていた」、「トイレが清潔に保持されていたこと」などがあげられました。

一方、坑内休憩所の受動喫煙対策が不十分であるため同対策の徹底と、坑内通路で足元の視界が悪い箇所や屋外扉の段差が高い箇所における転倒災害防止対策を図り、一層の安全衛生職場の形成がなされるようアドバイスを行わせていただきました。

最後に、切羽には背を向けない、バックプロテクターの着用、退避手順など「切羽作業の原則」の再度の周知徹底を依頼し、パトロールを終了しました。